

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22022	事業名	地域生活交通再編事業				評価分類	A1	
	事業手法	☐ 直営 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()								
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上				予算科目	会計	01:一般会計	
		基本施策	05:地域公共交通の充実					款	07:商工費	
		施策の方向	01:地域公共交通ネットワークの強化					項	01:商工費	
	重点プロジェクト	-				目	01:商工総務費			
	事業期間	H 19 年度 ~ R - 年度		主な根拠法令等		道路交通法、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律				

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	自立した移動手段を持たない人の生活を支える上で、日常生活における最小限度の移動手段の提供は必要不可欠である。また、高齢化の進展や運転免許証の返納により、移動困難者は増加しており、公共交通の必要性は高まっている。	自立した移動手段を持たない人	自立した移動手段を持たない人などの移動手段の確保や社会参加の促進をはじめ、市内公共施設等への公共交通アクセスを確保する。	広域廃止代替路線(2路線)及びコミュニティ系路線(7路線)を運行するとともに、乗合タクシー制度を運用する。事業推進にあたっては、新たな技術の活用も検討し効率性の向上等を図るとともに、乗合タクシー制度の一層の定着を目指す。

③ 事業の実施状況 (P・D)	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	事業計画		○基幹的バス路線の運行 ○地域生活バス路線等の運行 ○乗合タクシーの運行		○基幹的バス路線の運行 ○地域生活バス路線等の運行 ○乗合タクシーの運行		○基幹的バス路線の運行 ○地域生活バス路線等の運行 ○乗合タクシーの運行		○基幹的バス路線の運行 ○地域生活バス路線等の運行 ○乗合タクシーの運行 ○地域生活交通再構築検討		
	活動実績 (計画通り実施できたか)		バスは、定時定路線として安全に運行し、市民生活において必要なサービス水準を維持・確保できた。利用促進に向けては、ルート沿線住民へのチラシ回覧等のほか、運行事業者と連携し、SNSでの情報発信を行った。 乗合タクシーは、デマンド型交通として安全に運行し、個別のニーズに対応できた。利用促進等に向けては、出前講座の実施、新規登録者への無料体験乗車券の配布等を行った。		バスは、継続運行を行うことで、市民生活における必要最小限度のサービス水準を維持・確保できた。また、隣接市(津市・鈴鹿市)と連携したチラシ回覧やバス運行事業者と連携したバス乗り方教室の開催等の利用促進啓発活動を行った。 乗合タクシーは、継続運行を行うとともに、制度の定着と利用促進を図るため、出前講座の開催や新規登録者への無料体験乗車券配布のほか、利用者ニーズ把握のため、アンケート調査を実施した。		バスは継続運行を行うことで、移動困難者の通学・通院等市民生活に必要な最小限度のサービス水準を維持・確保できた。また、隣接市(津市・鈴鹿市)と連携したチラシ回覧やバス運行事業者と連携したバス乗り方教室の開催等の利用促進啓発活動を実施した。乗合タクシーは継続運行を行うとともに、制度の定着と利用促進を図るため、問合せ等に対しきめ細やかな説明を行うとともに、出前講座の開催や新規登録者へ無料体験乗車券の配布を行った。		バス及び乗合タクシーの継続運行により、市民生活に必要な最小限度のサービス水準を維持・確保するとともに、隣接市と連携したチラシ回覧やバス運行事業者と連携したバス乗り方教室の開催、乗合タクシー制度の出前講座等による利用促進啓発活動を行った。また、バス利用の低調な地域(亀山南部地区、亀山西部地区)を対象に地域・交通事業者・行政が三位一体となった共創による地域性に応じた交通体系のリ・デザインに向けた協議検討を実施することができた。		
	計画額	事業費	事業費	139,600千円	139,500千円	140,500千円	143,952千円	141,500千円	150,705千円	174,900千円	174,809千円
			国・県支出金		0千円		0千円		0千円	19,000千円	19,067千円
			地方債		0千円		0千円		0千円		0千円
			その他	10,100千円	10,126千円	10,400千円	9,769千円	10,600千円	10,179千円	10,400千円	10,489千円
			一般財源	129,500千円	129,374千円	130,100千円	134,183千円	130,900千円	140,526千円	145,500千円	145,253千円
	決算額	事業費	事業費		136,847千円		143,522千円		147,072千円		173,494千円
			国・県支出金		0千円		0千円		0千円		18,769千円
地方債				0千円		0千円		0千円		0千円	
その他				8,238千円		9,261千円		9,631千円		8,143千円	
一般財源				128,609千円		134,261千円		137,441千円		146,582千円	
①期間内計画額(R4-7)		596,500千円		②期間外計画額(R8-)		-		①+②総計画額		596,500千円	

(令和7年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	174,809千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指 標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	バス利用者数	コミュニティバス路線の総利用者数	成果	人	計画値	71,600	79,200	86,800	94,400
					実績値	69,347	72,862	77,257	79,255
	乗合タクシー利用者数	乗合タクシーの利用者数	成果	人	計画値	4,800	5,600	6,400	7,200
					実績値	4,514	5,418	5,534	5,602
					計画値				
					実績値				

⑤ 成 果 (C)	判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
	B	バス及び乗合タクシーの継続運行により、自立した移動手段を持たない人等の最低限の移動手段を確保することができた。また、バス運行事業者と連携したバス乗り方教室や出前講座の開催等の利用促進活動の結果、コミュニティバス利用者数は回復傾向となるとともに、乗合タクシーについては、過去最大の延利用者数となった。一方、バス利用が低調な地域を対象とした、地域・交通事業者・行政が三位一体となった共創による取り組みにより、持続可能な交通体系の再構築に向けて、一定の方向性を共有することができた。
まずまず成果を得た		

事業の対象	事業の目的
自立した移動手段を持たない人	自立した移動手段を持たない人などの移動手段の確保や社会参加の促進をはじめ、市内公共施設等への公共交通アクセスを確保する。

(再掲)

⑥ 課 題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	コロナ禍以降も利用者数が低調なコミュニティバス路線が一定存在するとともに、乗合タクシーの実利用者数及び乗合率の伸び悩みに加え、物価高騰や人件費上昇等の影響による地域公共交通の運行経費が増加しているため、効率的で効果的な地域公共交通ネットワークの再構築を図る必要がある。

⑦ 事 業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和8年度で対応する(した)もの	令和9年度以降で対応するもの
	地域・交通事業者・行政が三位一体となった共創による取り組みにより導き出された方向性の合意形成を図るため、共創による取り組みを継続するとともに、こうした再構築に向けた取り組みによる意見等を反映した次期地域公共交通計画の策定に取り組む。	令和9年度を始期とする亀山市地域公共交通計画に基づき、市内の地域公共交通が一体となって機能する公共交通ネットワークの形成に向けた、より効率的で効果的な公共交通体系の再構築と実現に向けた実証運行等に取り組む。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	B	B	B	B
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)

【履歴】

1次評価者	政策部 政策推進課 交通政策GL 水野 洋亮
最終評価者	政策部 政策推進課長 服部 任之